

1

山田さんたちは、最近ニュースで見て気になっていた熱中しようについて、学級みんなに知らせるために、保健室の先生にしつ問をすることにしました。次は、【保健室の先生へのしつ問の様子】と、【しつ問メモ】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【保健室の先生へのしつ問の様子】

山田さん

わたしたちは、熱中しようの予ぼうについて、学級みんなに知らせたいと思っています。そこで、今日は、熱中しようについて、三つしつ問をしたいと思います。よろしくお願いします。

保健室の先生

はい。よろしくお願いします。

山田さん

さつそくですが、熱中しようになると、どのようなことが起こりますか。

保健室の先生

はい。熱中しようになると、頭がいたくなったり、ふらふらしたりします。そして、こきゅうやみやくが速くなったり、体がしびれてきたりすることもあります。熱中しようは、気温の高い所にいることで、体温が調節できなくなり、体に熱がこもってしまうことで起きてしまいます。

山田さん

とてもこわいですね。それでは、二つ目のしつ問ですが、熱中しようは、夏の病気なのでしょうか。

保健室の先生

いいえ。そうとはかぎりません。夏でなくても、熱中しようになる人がいます。夏の暑さだけが原因ではなく、体が暑さになれていなかったり、その日の体調が悪かったりすることで、熱中しようになることがあります。

山田さん

なるほど。熱中しようは、夏の暑い日に起こる病気だと思っていました。夏以外でも起こる病気なのですね。

保健室の先生

はい。はじめは、熱中しようになっていることに気づきにくいのですが、放っておくと、命にも関わります。

山田さん

ニュースでも同じようなことが伝えられていました。ニュースでも同じようなことが伝えられていました。では、もう一つしつ問です。熱中しようをふせぐ方法について教えてください。

保健室の先生 はい。まず、こまめに水分をとることが大切です。また、外で活動をするときには、ぼうしをかぶるようにしま

しよう。そして、何よりも大切なのは、体調が悪いと感じたら、がまんをせず、すぐに休むことです。外ですごすときだけではなく、部屋の中ですごすときも、予ぼうししなければなりません。

山田さん とてもよく分かりました。熱中しようは、いつも気をつけておかないといけないのですね。今日教えてもらったことは、すぐにみんなに伝えます。

ア

ですからね。ありがとうございました。

【しつ問メモ】

しつ問		予想		結果		メモ	
熱中しようになるとどのようなことが起こるか		頭がいたくなる	○	ふらふらする	○	・こきゆう みやく 速く ・体 しびれ	↓ 命 きけん
熱中しようは夏の病気が		夏の病気	△			・夏でなくてもなる 原いん① ② その日の体調の悪さ A	
熱中しようをふせぐ方法は		水を飲む ぼうしをかぶる	○ ○			・体調悪い ↓ 休む	

一 【保健室の先生へのしつ問の様子】で、山田さんは、くふうしてしつ問をしています。そのくふうとしてふさわしくないものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 はじめにしつ問する理由を伝えてからしつ問をしている。
- 2 分からなかった言葉の意味をたしかめるしつ問をしている。
- 3 全部でいくつしつ問をするか伝えてからしつ問をしている。
- 4 しつ問に対する答えを予想したうえでしつ問をしている。

二 山田さんは、保健室の先生にしつ問をしながら、メモを取りました。【しつ問メモ】のふさわしいものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

A

に入る内容として最も

- 1 暑さになれていない
- 2 頭がいたくなる
- 3 命に関わる
- 4 水を飲まない

三 山田さんは、保健室の先生へのしつ問が終わった後、熱中しようの予ぼうについてすぐに学級の人々に知らせようと思いました。

そのとき、これまで書きためていたことわざカードの一つが思いうかび、そのことわざを使ってみました。【保健室の先生へのしつ問の様子】の  ア  に入ることわざについて書かれたカードとして最もふさわしいものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 急がば回れ

(意味) 時間がかかっても、安全で着実な方法を選ぶほうがよいこと。

2 石の上にも三年

(意味) しんぼう強くやれば、よい結果がえられること。

3 ぜんは急げ

(意味) よいと思うことは、すぐに行くほうがよいこと。

4 さるも木から落ちる

(意味) あることがとくにくい人でも、失敗することがあること。

四 山田さんは、学級の人々に知らせるための話し方を考えています。次のふきだしは、〈発表のまとめの部分〉です。

山田さんは、「いつでも」の部分**を強調して話そうと**考えています。〈強調することにした理由〉の

B に入る内容を、【保健室の先生へのしつ問の様子】から言葉を取り上げて書きましょう。

〈発表のまとめの部分〉

このように、熱中しようは、いつでも起こることが考えられる病気です。水分をしつかりととり、熱中しようにならないように気をつけましょう。もし、具合が悪いと感じたら、すずしいところで休みましょう。



〈強調することにした理由〉

熱中しようは、

B

ということが最初の予想とちがったから。

五 山田さんは、【保健室の先生へのしつ問の様子】の——部の話を聞いてから、ふだんの自分のみやくの速さを

知っておくことが大切だと考え、みやくの計り方について、パソコンを使ってインターネットで調べることになりました。「みやく」をローマ字（小文字）で正しく書きましょう。

